

松波小学校だより

第10号
令和7年1月31日
能登町立松波小学校

今年もよろしく願いたします。

保護者の皆様、地域の皆様、旧年中は本校の教育活動につきまして、格別のご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。

新学期が始まり、子供たちの輝く笑顔が学校に戻ってきました。今年巳年です。蛇は、脱皮してどんどん強く成長していく様子から、再生と変化の象徴と言われることもあるそうです。始業式では、昨年までの自分とは違う自分に気付いたり、今までできなかったこと、やらなかったことなど、新しいことを始めたり、そんな挑戦する1年にしてほしいと子供たちに話をしました。



1月は「行く」、2月は「逃げる」、3月は「去る」と言われるように、3学期はあっという間に過ぎていきます。学校に来る日数は、6年生が48日、1～5年生が50日しかありません。学年のまとめをじっくりと行い、次学年の0学期として、どの授業もめあてをしっかりと意識し、よく考え、最後の振り返りまで進んで学習してほしいと思います。また、6年生は小学校生活最後の3か月となります。在校生に良い手本をたくさん残し、3月19日には堂々と卒業証書を受け取れるよう、充実した毎日をご過ごしてほしいと願っています。



昨年は、保護者の皆様・地域の皆様に支えられ、たくさんの良い学びや活動ができました。皆様方の温かいご理解・ご協力に感謝申し上げます。今年も、全教職員で心を一つにして取り組んでまいりますので、保護者の皆様・地域の皆様のご理解、ご協力をどうぞよろしく願いたします。

松波小学校 校長 宮本 秀人

心もそろろう

1月の生活目標は「身の回りを美しく整えよう」です。子どもたちは、かかとをそろえて靴を下駄箱に入れています。みんながそろろうととても気持ちがいいです。

